

平成26年第1回定例会一般質問

平成26年第1回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 2月28日(金)・3月3日(月)・4日(火)・5日(水)
いずれも午前10時から

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

問合せ先 議会事務局(電話042-387-9947)

| 発言順 | 議員名 | 質問日(予定) |
|-----|---------|---------------|
| 1 | 露 口 哲 治 | 平成26年2月28日(金) |
| 2 | 小 林 正 樹 | |
| 3 | 五十嵐 京 子 | |
| 4 | 鈴 木 成 夫 | |
| 5 | 中 山 克 己 | |
| 6 | 宮下 誠 | |
| 7 | 白 井 亨 | 平成26年3月3日(月) |
| 8 | 関 根 優 司 | |
| 9 | 板 倉 真 也 | |
| 10 | 岸 田 正 義 | |
| 11 | 水 上 洋 志 | |
| 12 | 百 瀬 和 浩 | |
| 13 | 渡 辺 ふき子 | 平成26年3月4日(火) |
| 14 | 片 山 薫 | |
| 15 | 遠 藤 百合子 | |
| 16 | 林 倫 子 | |
| 17 | 斎 藤 康 夫 | |
| 18 | 中 根 三 枝 | |
| 19 | 湯 沢 綾 子 | 平成26年3月5日(水) |
| 20 | 渡 辺 大 三 | |
| 21 | 紀 由紀子 | |
| 22 | 森 戸 洋 子 | |
| 23 | 田 頭 祐 子 | |

一般質問の通告について

発言順

2

平成26年02月14日
(西暦2014)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>1. 情報受発信のスマートフォン対応について</p> <ul style="list-style-type: none">a) 小金井市/観光協会ホームページのスマホ対応はb) 「いいね!」ボタンの設置ができないかc) twitter アラートに対応しないかd) AR (拡張現実) コードを市報に追加しないかe) 防災アプリを開発しないかf) ウォーキングアプリを利用して健康増進を行わないか | |
| <p>2. 障がい者のワンストップサービスについて</p> <ul style="list-style-type: none">a) 相談業務について現状を確認するb) 障がい者総合相談窓口設置ができないか | |

一般質問の通告について

発言順

4

平成26年 2月17日
(西暦2014)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

鈴木成夫

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| 1. 子どもたちの自立支援のために、今できることは何か | |
| ①児童発達支援センター「きらり」の利用状況について | |
| | |
| | |
| ②保育所や幼稚園、小・中学校など、他の施設との連携体制はどうか | |
| | |
| | |
| ③普通学級に在籍している、個別の支援と配慮が必要な子どもたちを支えていく体制はできているか | |
| | |
| | |
| 2. 45年ぶりの積雪に対し、小金井市の危機管理体制について | |
| ①市民生活に関する情報発信は十分だったか | |
| | |
| | |
| ②公共スペースの除雪体制など、組織的な緊急対応は行われたか | |
| | |
| | |
| ③災害時要援護者に対するアプローチはどうだったのか | |
| | |
| | |
| | |

一般質問の通告について

発言順

5

平成26年 2月18日
(西暦2014)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

中山 克己

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---------------------|----|
| 1. 市税徴収のあり方について問う | |
| (1) 市税徴収の現状は | |
| (2) 徴収強化に向けて | |
| | |
| | |
| 2. 残業時間短縮に向けて | |
| (1) 現状の取組みは | |
| (2) 残業時間が増える要因分析は | |
| (3) 今後の取組みについて | |
| | |
| | |
| 3. 公共料金見直しに向けて | |
| (1) 検討中の課題は | |
| (2) 明確な改定基準の設定を | |
| (3) 受益者負担で公平公正な取組みを | |
| | |
| | |
| 4. 消費税増税後の交通費精算について | |
| | |
| | |
| | |

一般質問の通告について

発言順

6

平成26年 2月 18日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1、公会計改革の推進について</p> <p>(1) 小金井市の財政状況と地方公会計制度の新しい流れをどのようにとらえるか。</p> <p>(2) 複式簿記・発生主義の考え方とその効果は。</p> <p>(3) 新地方公会計制度の課題と今後の方向性は。</p> <p>(4) 現行の財務諸表からわかることは。</p> <p>(5) 総務省統一基準の策定を見越し、固定資産台帳等、基本情報の整備を進めよ。</p> <p>2、成年後見制度の充実に向けて</p> <p>(1) 制度が求められる社会的背景や地域の実情は。</p> <p>(2) 国の政策的方向性は。</p> <p>(3) 制度の普及・啓発活動を積極的に進めないか。</p> <p>(4) 担い手の拡充を図らないか。</p> <p>(5) 他市の取組みを参考にしないか。</p> <p>(6) 市役所における制度のリーダーシップを担う課をもっと明確にしないか。</p> | |

一般質問の通告について

発言順

7

平成26年 2月16日
(西暦2014年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

白井 亨

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| 1. 待機児童対策、26・27年度が“不運な世代”にならない為に | |
| (1) 認可保育所の入所申込と承諾または不承諾の判定について | |
| (2) 平成26年度に待機児童になった方々への緊急対策やサポートについて | |
| (3) ニーズ調査を踏まえ、保育事業部分を前倒して分析・計画設計しましょうよ | |
| 【質問意図】待機児童率が2年連続で26市ワーストの小金井市。27年度からの子ども子育て新制度に合わせて事業計画は組まれるが、そのサービスを楽しむのは28年度以降が主。保育計画がなく新生児数予測の誤りもあり、十分な待機児童解消策が取られていない25・26年度の待機児童は特に不運となってしまう。その状況を確認し改善することを求める。 | |
| 2. 行政内部で保有する情報資産を「集約」し「利活用」すべき | |
| (1) 情報共有と活用が「十分なされていない」という問題意識はあるのか | |
| (2) 行政保有情報を集約し分析する仕組みを作るべきではないか | |
| (3) オープンデータを試験的にやってみましょうよ | |
| 【質問意図】待機児童解消への取組の質疑の中で、部を横断して必要(と考えられる)情報の共有化がなされていないことがわかった。行政内部にはそれらを利活用して市民サービスをより向上させることができると想像される情報資産があるにも関わらず、充分活かせていないと感じている。その原因と問題点、改善策について質問したい。 | |
| 3. nonowa東小金井開業の影響等及び将来展望について | |
| (1) nonowa東小金井開業に伴っての周辺への影響やその対策等 | |
| (2) コンシェルジュの活用と回遊性の実現についての市の長期的な考え方は | |
| 【質問意図】nonowaが開業し周辺の商店への影響や交通対策などをどのように捉えて行動していくのか。また長期的な視点で回遊性をどう図るのかを問いたい。 | |

一般質問の通告について

発言順

8

平成 年 2 月 18 日
(西暦 2014)

(宛先)
小金井市議会議員長

小金井市議会議員

(署名) 関根 俊司

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| 1. 民間委託で今の学童保育の質は守れない。 委託方針は撤回すべき。 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 2. 財政が大変と言いつながら大型再開発推進は 矛盾している。大型再開発計画はやめるべき。 | |
| (1) 武蔵小金井駅南口再開発第2地区について | |
| (2) 武蔵小金井駅北口再開発について | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

一般質問の通告について

発言順

9

平成 年 2 月 18 日
(西暦 2014)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|--|----|
| 1. 特養ホーム増設と介護保険改悪案への対応策を問う | |
| (1) 特養ホーム増設に向けたこの間の取り組み状況について | |
| ① 第5期介護保険事業計画に沿ってどのような取り組みが されてきたのか。 | |
| ② 2015年度からの第6期介護保険事業計画では、市の主体的な 取り組みを明記すべき。 | |
| (2) 介護保険制度改悪案への対応策について | |
| ① 制度改悪案への見解を問う。 | |
| ② 従来のサービス継続と利用者負担増にならない対策を。 | |
| 2. 認可保育園増設に向けた方針を問う | |
| (1) 「保育業務の総合的な見直し」の内容如何に関わらず認可保 育園の増設を | |
| (2) 2015年度からの「子ども子育て新システム」における認可保育園 増設の考え方にフイ | |
| ① 認可保育園増設を明記した計画案を子ども子育て会議に 諮問すべき。 | |
| ② 認可保育園への企業参入は抑制すべき。 | |
| (3) 認可外保育所(無認可保育所)への助成、利用料補助の P470を | |

一般質問の通告について

発言順

11

平成 年 2 月 18 日
(西暦 2014)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 水上洋志

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|-------------------------------|----|
| 1. 市民の命と財産を守る防災対策の充実を求める。 | |
| (1) 地域防災計画の進捗状況について | |
| (2) 国の法改正などへの対応について | |
| (3) 木造住宅の耐震化促進など減災予防対策の充実を求める | |
| (4) 図上訓練や学校ごとの避難訓練などの検討を求める | |
| (5) 東日本大震災の被災者、被災地への引き続く支援を | |
| 2. 認知症対策の充実を | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

一般質問の通告について

発言順

12

平成26年 2月18日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 百瀬和浩

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第6.0条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|------------------------------------|----|
| 過去20年という短い期間に阪神・淡路大震災、東日本大震災と極めて被害 | |
| の大きな地震災害に日本列島は見舞われました。 | |
| これから30年のうちには首都直下大地震、東海、東南海・南海地震の発生 | |
| の可能性は極めて高くなつたとされています。 | |
| 基礎自治体の責務として「防災」は何よりも最優先されるべき課題であり、 | |
| 厳しい財源状況下においても十分な対応が求められます。 | |
| | |
| 1. これまで取組まれた防災対策について | |
| (1) 「小金井市地域防災計画」やこれまでの防災・減災対策をどの | |
| ように評価しているか。 | |
| (2) 過去の取組みから見えた課題は何であるか。 | |
| | |
| 2. 災害時の対応について | |
| (1) 幼児、児童・生徒、高齢者の人命確保は確実にされるか。 | |
| (2) 帰宅困難者の安全確保は適切に行われるか。 | |
| (3) 負傷者に対する医療活動は十分に確保されるか。 | |
| | |
| 3. 「事前復興計画」の策定について | |
| (1) 防災・減災の視点だけでなく、公共施設再配置、まちづくりの | |
| 包括的な視点を持った「事前復興計画」をつくらないか。 | |
| (2) 市民参加による協働型の「復興模擬訓練」を行わないか。 | |
| | |

一般質問の通告について

発言順

13

平成26年2月18日
(西暦)

(あて先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺さつき

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>1、実のある「がん予防施策」の実施をすすめよ</p> <p>①コールリコール制度を活用し、がん検診の受診率向上を。</p> <ul style="list-style-type: none">・がん検診の無料クーポン券の効果について問う。・国の補正予算に盛り込まれた、がん検診の個別受診勧奨（コールリコール制度）について小金井市の取組を問う。・更なる受診率の向上をめざし、市として個別受診勧奨制度を確立すべき。 <p>②胃がんはピロリ菌の感染症。「胃がんリスク検診」とピロリ菌検査の実施をすすめるべき。</p> <ul style="list-style-type: none">・血液検査の受診時に、希望者にはピロリ菌の検査を可能にせよ。 <p>③子宮頸がんワクチン接種の現状について問う。</p> <ul style="list-style-type: none">・厚生労働省の見解と、今後の小金井市の対応は。 <p>2、農工大・多摩ベンチャーポートと、東小金井高架下の「事業創造センター」との連携により、小金井市内への企業誘致をすすめるべき</p> <p>①産・官・学連携によるインキュベーション施設への小金井市の支援は5年を経過し、巣立ちの時を迎えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・農工大インキュベーションの現在までの成果について問う。・市内に起業の場所の確保は進んでいるか。 <p>②小金井市は、産・官・学連携のモデル都市を目指してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・今後の目標と、具体的な計画を立てるべき。 <p>3、ペットを飼う家庭が増えているが、犬の散歩等でマナーの悪さを指摘する声も多くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・市内の動物を販売する業者や動物病院と連携して、ペットを飼育する際のマナー講習やチラシの配布を行い、地域にも愛されるペットの飼育をして欲しい。 | |

2014年2月18日

(あて先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

片山 かつる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1. 地域防災計画と原発事故被災者・避難者支援について 災害対策基本法の改訂により、地域防災計画の見直しが遅れていると聞く。どのような状況か。震災・原発事故から3年経ち、ようやく避難者交流会が開かれることとなった。地域の支援者とのつながりが持てる会にするべきである。</p> <p>1) 地域防災計画の見直しの現状は。 2) 3/8の市民活動まつりの中で行われる避難者交流会について。</p> <p>2. 産科医療補償制度の見直しについて 2008年に導入された制度であるが、5年ごとに見直しされることになっており、現在、審議中である。制度導入の際も、剰余金の問題と障がい者間の差別が生じるのでは、といった指摘がされていた。現在はどのような状況か。</p> <p>1) 社会保障審議会での審議状況は 2) 補償を受けた対象者数と剰余金の状況は</p> <p>3. 生活困窮者自立支援法の活用について 不十分な法律であるが、市民団体と協働した支援を組み立てていくことが可能。どのような取組みを考えているのか</p> <p>1) 生活保護法改訂の影響は 2) 自立支援法に基づいた支援体制をどう構築するのか。他自治体の状況把握は。</p> <p>4. 都知事選について</p> <p>1) 市長会事務局を通じたの選挙応援依頼、意見交換があったと聞く。市長会は公益の団体であり、そのような使用は問題ではないか。 2) 選挙公報の配布時期が、他自治体と比べ非常に遅い。是正できないか。</p> | |

2014年2月18日

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 杯倫子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>1・不燃系ごみを減量するため、小金井市の更なる取り組みを</p> <p>(1) 容器包装リサイクル法対象のプラスチックを分別回収しないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年度、不燃系ごみの処理量が前年度より約3%増える見込みである。削減に至らなかった原因を市はどのようにとらえているか。 ・不燃系ごみをこれ以上増やさないための対策を考えているか ・プラマークの付いた容器包装ごみを「資源」として分別回収しないか <p>(2) リサイクル推進協力店を増やさないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進協力店に取り組んだ理由と現状 ・ホームページや市報への掲載で、店舗や市民からはどのくらいの反応があるのか ・多摩市の取り組みを参考にリサイクル推進協力店を増やさないか <p>2・市民後見人の育成と活用について、市の考えを問う</p> <p>(1) 後見人制度の現状と課題について</p> <p>(2) 後見ニーズの把握と必要性をどうとらえているか</p> <p>(3) 市で市民後見人の養成講座をしないか</p> | |

一般質問の通告について

発言順

17

平成 26年 2月18日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

斎藤康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容 | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1. 庁舎建設計画推進のために</p> <ul style="list-style-type: none">(ア) 自前庁舎建設が税金の効率的使い方 である(イ) 建設資金計画について(ウ) 財政の負担にならない手法について知恵を使って検討すべき<ul style="list-style-type: none">①豊島区役所のケース②東京駅舎のケース③その他自治体のケース(エ) 小金井市に適している手法<ul style="list-style-type: none">①敷地を効率的に使うために都市計画変更を行うべき②多用途・複数地権者と合築のリスク③敷地の活用がカギとなる <p>2. 連雀通りと、おお坂周辺の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none">(ア) 南西のガードレールを改修すべき(イ) 東を向いている信号を常に黄色の点滅信号とする(ウ) 連雀通りの坂の手前に横断歩道を設置し歩行者や自転車に対しての注意を車の運転手に促す(エ) 東側の信号と坂の西側まで交差点として扱う <p>3. 耐震改修促進計画について</p> <ul style="list-style-type: none">(ア) 想定される被害の状況について(イ) 耐震化の現状と目標について(ウ) 普及啓発(エ) 耐震診断・耐震改修の補助金について | |

平成26年2月18日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 中根三枝

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|------------------------------|----|
| 1. 教育行政について。 | |
| (ア) 本市の小中学校は土曜日をどのように活用しているか | |
| (イ) 教育委員会の今後。 | |
| 2. 自動車二輪車の駐車について。 | |
| (ア) 自動車二輪車の駐車場の現況。 | |
| (イ) 今後の方行付は。 | |
| | |
| | |
| | |
| | |

平成26年2月18日
(西暦)

(あて先)
小金井市議会議員長

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---------------------------------|----|
| 1. 障がい者や難病患者のための「ハルマカード」 | |
| 「ハルママーク」の普及や啓発について | |
| (1) 「ハルママーク」「ハルマカード」の配布状況はどうか。 | |
| (2) どのように周知を行なったか。 | |
| (3) 協力を求めるために市民への周知はできているか。 | |
| (4) 防災訓練の時に「ハルママーク」「ハルマカード」を使って | |
| 行わないか。 | |
| (5) 対象者の拡充を行わないか。 | |
| 2. 救急医療情報キットについて | |
| (1) 配布の状況はどうか。 | |
| (2) 今後の周知・啓発の取組はどのようにしていくのか。 | |
| (3) 対象者の拡充を行わないか。 | |
| 3. 口腔ケアの充実で健康寿命をのばして | |
| いかないか | |
| (1) 口腔ケアの啓発のための講演会等を | |
| 実施しないか。 | |
| (2) 口腔ケアの充実によって口腔がんの発見 | |
| にもつながる取組の拡充を行わないか。 | |

一般質問の通告について

発言順

22

平成 年 2月18日
(西暦2014年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

森戸洋子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| 1. 消費税増税に対する対応について | |
| (1) 消費税8%引き上げによる市民生活への影響を調査しないか | |
| (2) 学校給食費などの値上げをやめ、市が助成を | |
| (3) 消費税増税で景気回復や社会保障制度の充実につながらない。4月実施の中止を求めないか | |
| 2. 障がい者が安心して暮らせる施策の充実を | |
| (1) 昨年施行された障害者総合支援法一障がい者がこれまで受けられていたの生きる権利を守る施策を | |
| (2) 児童発達支援センター「きらり」の開設から1年。さらなる充実を求めて | |
| 3. 公立保育園の委託化はやめ、安心して子育てできる環境を | |
| (1) 公立保育園のサービス水準をどのように作成するのか一公立保育園の保育内容をふまえて | |
| (2) これまでの公立保育園の保育についての保護者対象のアンケート調査などで利用者全体の声などを聞かないか | |
| (3) 運営協議会で、私立保育園や民間に委託された保育園の見学会を開催し、小金井市の保育の水準について検討しないか | |
| | |
| | |
| | |
| | |

2014年2月18日

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭祐子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

| 表題及び質問の具体的内容 | 備考 |
|---|----|
| <p>1・子宮頸がんワクチン接種について</p> <p>(1) 市内で、接種後に体調の変化や副反応があった事例は</p> <p>(2) 医師会との連携は</p> <p>(3) 積極的な勧奨中止が解除となった場合の、市の考え方は</p> <p>(4) HP等でのわかりやすい広報と、相談しやすい体制作りを</p> <p>(5) 茅ヶ崎市を参考にして、接種後の体調変化の状況調査を行わないか</p> <p>2・集会施設等の市民利用について</p> <p>(1) 上之原会館や市民会館、集会施設などの予約システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日申し込みができる施設とできない施設の違いは ・有料施設の利用料金設定の根拠は何か ・上之原会館や市民会館などは、当日でも利用申し込みができるように見直さないか <p>(2) 市民交流センター地下練習室や会議室の利用料金や予約システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の利用実態について ・利用者の声を反映する仕組みは ・公民館や市民会館と同様に、1時間枠で利用できるよう見直さないか | |